

日 時 平成 27 年 8 月 18 日 (火) 18 時 30 分 ~20 時 00 分

場 所 八幡崎地区農業研修センター

対象地区 八幡崎

参加人数 18 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○側溝について</p> <p>(市民からの要望・質問)</p> <p>最近、集中豪雨が多く屯所周辺が冠水する。側溝が直角に曲がっている部分があるため、そこに草やゴミなどが溜まって冠水しているようだ。対策をお願いしたい。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・現場を確認する。県道であるので県と協議する。
<p>○人口減少対策について</p> <p>(市民からの要望・質問)</p> <p>人口減少は全国的な問題である。人口を増やすには子どもを産んでもらうのが一番だと思う。全国的に人口が増えている市町村があるのか。そのような市町村に研修に行っているのか。</p> <p>I ターンやUターンの人に空き家を使ってもらおうよう工夫したらどうか。農地の貸し出しもすればいいのではないか。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・県内で人口が増えている町村が 2 つくらいある。都市のベッドタウンの役割のところである。・現在、市では地方人口ビジョンを策定しているところである。地域の特性や地理的条件を考慮し、市全体でどのような人口減少対策ができるか取り組んでいる。・他市町村への研修はしていない。・全国的には移住定住を増やし人口減少に対応している地域がある。田舎暮らしをしたい人、I ターンUターンの方が住みたい地域づくりをしている。徳島県神山町は移住定住者が増えているとメディア等で取り上げられている。・田舎のほうの子育てによい環境であるということで移住する人もいる。平川市では、子育て、学校教育に力を入れて、子育てしやすい環境を整えていく。平川市に住みたいと思ってもらえるよう努力する。・子育ての前に結婚する人を増やす必要もある。カップリングにも力をいれたい。市では電車で合コン等の費用の一部を商工会に助成し出会いの場を作ることにも力を入れている。・佐賀県武雄市には「お結び課」があり、行政でお見合いを仲介している。独身の男女に

合いそうな相手を紹介してカップリングしている。結婚する人が増えるよう参考にした
い。

- ・空き家対策については3月に条例を制定した。使える空き家がどれくらいあるのか状況を把握し、今後、空き家バンク的なものを作って活用できるようにしたい。
- ・空き家をリフォームするのに助成をして空き家を活用しているところもあるので参考にしたい。

○道路舗装の修繕について

(市民からの要望・質問)

八幡崎と西野曾江の間の市道の舗装の修繕について、一昨年、八幡崎の交差点まで修繕してもらったが、その後進んでいないのでお願いしたい。

また、一戸商店から屯所に入っていく道路も亀裂が入っているので補修してもらいたい。

(市の回答)

- ・八幡崎と西野曾江の舗装は、昨年、現場を確認したところ、優先順位を後の方にさせていただくこととし27年度の事業として予算計上していない。一戸商店のところと合わせて現場を確認する。

○コミュニティ補助金について

(市民からの要望・質問)

市や社会福祉協議会から補助金をもらって町会を運営しているが、補助金は人件費に使えない。町会の会議に出席してくれる人は貴重な時間を使っているのに、日当を払いたい。日当に充てることを認めてもらいたい。

(市の回答)

- ・市では今年コミュニティ補助金を見直した。地域づくりに活用してほしい。
- ・みんなで自分たちの地域を作っていく中で、会議出席した人にその都度、日当を払うというのは賛成できない。お互いに助け合い、自分たちでできるところは自分たちでやるような地域づくりをしていただきたい。自助の意識を市民のみなさんに持っていただけようようにしていきたい。

○地方創生の取組について

(市民からの要望・質問)

地方創生の取組について教えてほしい。

(市の回答)

- ・平成27年度から「まち・ひと・しごと創生」の基本認識に立ち、平川市に必要な政策展開を進めている。
- ・国からの「地方創生交付金」を活用し事業費総額 237,736千円で事業を実施する。
- ・事業については広報ひらかわ6月号、7月号にも掲載しているのでご覧ください。

・まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少対策、地域活性化のための全国的な取り組みである。

○ねふたについて

(市民からの要望・質問)

八幡崎ねふた同志会の会長をしている。春に、猿賀神社の花と植木まつりにねふたを出したいという申し入れに対応してもらい感謝している。来年も花と植木まつりにねふたを出したいと考えているので協力をお願いしたい。ねふたをやることで、子どもたちや地域の和が広がる。子どもたちにねふたを通して地域を好きになってほしい。夏や冬の市で行う合同運行の他に、単独でねふた運行することも検討しているので、その際は協力をお願いしたい。

(市の回答)

- ・ねふた祭りへの協力、ねふたで花と植木まつりを盛り上げていただいたことに感謝している。
- ・子どもたちを巻き込んでねふたをやることで地域を盛り上げていただきたい。故郷に愛着のある子どもが増えて、ずっと平川市で暮らしていきたいと思えるような地域づくりをしていただきたい。そのために市ができることは協力していきたい。
- ・今年は冬のねふたを大みそかに実施する。雪等で運行できない場合も、健康センター前で祭りを実施する。来年度からの冬のねふたの実施についてはねふた団体等と協議して決めたい。
- ・八幡崎はねふたも獅子踊りも盛んである。末永く保存して将来につなげて行ってほしい。

○街灯について

(市民からの要望・質問)

中学生の娘が自転車通学しているが、大通りが暗く、帰りが遅くなる時は不安である。夜道を明るくできないか。

(市の回答)

- ・9月から街灯をLEDにする工事に取り掛かる。現在使っている蛍光灯よりは明るくなる。市内全部の街灯をLEDにしていく。日沼に向かう道路の街灯が歩道と反対側についている箇所も歩道側になるよう対応する。

○平川市のグルメについて

(市民からの要望・質問)

黒石は黒石焼きそば、野辺地のホタテ御膳、南部の方では馬肉など、各地にメインとなる食べ物がある。平川市にはりんごはあるが、ご飯的なもので他市町村の方にお勧めできる食べ物がない。レストラン等の食べられる場も少ない。レストランや喫茶店があれば、男女の出会いの場にもなるのではないか。

(市の回答)

- ・平川市の弱点の一つである。市役所内での意見交換でもB級グルメをつくれればいいという話がでた。市民のみなさんのアイディアをもらいながら考えていきたい課題である。
- ・食べる場所については、尾上地域は食堂が多いが平賀地域は食堂が少ない。広船小学校が廃校となって民間に売却する。りんごの選果場になる予定であるが、校舎は空いている。他県では廃校舎を利用して農家レストランにするなど、地域おこしをしている例があるので参考にしたい。
- ・平川市発のB級グルメは市役所内でも話題になるが、市役所発では税金を使うことになるため、慎重になるし限界がある。商工会青年部等地域の方から発案があれば支援したい。
- ・個人的には市内にもおいしい食堂があるが、市民レベル全国レベルにしていくには地域の団体等市民の方からの盛り上がりがないと成功しないのではないかと考える。

○ゴミについて

(市民からの要望・質問)

つがる温泉の道路沿いのゴミ出し場に、指定されていないゴミ袋でゴミを出す人が非常に多い。町会の人ではないと思う。2年位前に、市役所に相談し、防犯カメラをつけてもらった。防犯カメラをつけている間はなくなったのだが、防犯カメラを取り外したら、また増えた。もう一度防犯カメラをつけて欲しい。

(市の回答)

- ・防犯カメラの空き状況を確認して町会長に連絡する。

○マイロードマイタウン整備事業補助金について

(市民からの要望・質問)

今後の見通しについて教えて欲しい。

(市の回答)

- ・3年の計画であり、27年度で一区切りである。多面的機能支払交付金はハード的な事業も対象になるため多面的機能支払交付金に統括されるかもしれない。対象となる地区は多面的機能支払交付金を利用してほしい。多面的機能支払交付金の対象にならない地区のことも考慮し、予算を縮小するなど整理し調整していきたい。来年度の予算要求までには市の考えをまとめていきたい。
- ・地域のみなさんでできることは地域で対応するために市で経費を負担することは必要だと思う。
- ・地域自治組織を作りたいという考えがある。全国的にみると、100くらいの市町村が作っている。小学校区くらいの単位でコミュニティの組織を作り、市民のみなさんが主体となって地域のことを地域自らが決め、それを実行するような組織である。地域自治組織に市で予算を預けているところもある。当市では現在、町会毎のコミュニティがうまくいっているし大事にしていきたいが、今後、人口減少などにより1つの町会では対応が厳しくなることも考えられる。すぐにとはいくわけではないが、将来にむけての地

域づくりについて考えていきたい。

○建物の新築の予定について

(市民からの要望・質問)

猿賀小学校の改修や運動場、庁舎建設等大きな事業についての今後の計画を教えてください。

(市の回答)

- ・ 合併特例債が使える期間が5年間延びた。平成26年の新市建設計画の中で平成32年に合併特例債が使える期間が終了するまでに、ハード事業に取り組んでいく計画である。
- ・ 学校の改修については、猿賀小学校28年度着手、平賀東小学校27年度の予定である。小和森小学校は27年度の予定であったが国の補助が不採択になったため28年度に実施予定である。
- ・ おのえスポーツセンターの多目的広場は今年終了、第2期運動場計画は27年と28年の2か年の計画である。ひらかドームの向こう側の空き地に陸上競技場とソフトボールや野球ができる多目的広場を整備する。平賀体育館の改築は28年度から基本設計を組む。前にマイクロニクスさんの駐車場であった場所を明け渡してもらい今まで運動場であったところをマイクロニクスさんに売却した。県で国民体育大会の誘致に動いている。体育館で競技をやる場合メインアリーナとサブアリーナが必要であるため、平川市でも対応できるようにしたい。
- ・ 市役所本庁舎については、耐震基準を満たしておらず、防災の拠点となり得ないので、耐震改修をするのか新しく建てるのかを検討した。現在の建物は高齢化社会やワンストップサービスに対応していないため、使いやすい建物をということ建て替える決断をした。昨年度から基本計画に取り掛っている。今年度で場所、規模等の結論を出して、28年度に基本設計の発注、29年度で実施設計、30年度と31年度に建設して32年度に開庁する計画である。予算については、当初平米あたり36万5千円を見ていたが、資材の高騰・人件費のアップがあり平米あたり49万円に見直しをした。建設費は上がるが健全財政を維持できる見通しの下に計画している。